

# かまくら 議会だより



第270号  
令和7年(2025年)  
8月1日発行

令和7年(2025年)5月臨時会(5月22日)

令和7年(2025年)6月定例会(6月11日~27日)

## ●定例会等の概要

- ・5月臨時会では、議長、副議長選挙のほか、各常任委員会等の委員構成が決定しました。
- ・市長提出議案として、専決処分承認議案1件を承認、補正予算議案1件を可決、議会選出の監査委員の選任議案に同意しました。
- ・6月定例会では、20名の議員が一般質問を行いました。
- ・市長提出議案として、条例関係議案4件、補正予算議案1件、その他議案7件を可決、教育委員会の委員の任命議案に同意しました。
- ・議員提出議案2件を可決しました。
- ・請願1件、陳情3件を採択しました。

## ●定例会等の主な動き

5月臨時会/本会議(5/22)	議長・副議長等新役員の決定、議案上程、採決	(1・6面)
6月定例会/本会議(6/11~13、16、18)	一般質問、議案上程、採決	(2~4面・6面)
各常任委員会(6/19、20、23、24、26)	議案、請願・陳情審査等	(5面)
本会議(6/27)	委員長報告、議案上程、採決	(6面)

## 鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 FAX:0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ [鎌倉市議会](#)

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会



# 新任期が始まりました!

第22期議員と市長・副市長・教育長(議員任期:令和7年(2025年)5月15日~令和11年(2029年)5月14日)



- |         |          |        |         |         |           |          |          |            |      |          |          |            |         |         |         |         |         |        |          |        |      |         |          |           |          |        |         |          |        |         |          |           |      |
|---------|----------|--------|---------|---------|-----------|----------|----------|------------|------|----------|----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|------|---------|----------|-----------|----------|--------|---------|----------|--------|---------|----------|-----------|------|
| 加藤 千華議員 | 細川 まなか議員 | 上野 学議員 | 水上 武史議員 | 岡崎 修也議員 | 津野 てるひさ議員 | 中村 てつや議員 | 重黒木 優平議員 | 茶木 久美子事務局長 | (後列) | 岸本 都美代議員 | 小野田 康成議員 | くりはら えりこ議員 | 志田 一宏議員 | 長嶋 竜弘議員 | 前川 綾子議員 | 日向 慎吾議員 | 武野 裕子議員 | 森 功一議員 | 藤本 あさこ議員 | 大石 香議員 | (中列) | 吉岡 和江議員 | 高橋 洋平教育長 | 千田 勝一郎副市長 | 比留間 彰副市長 | 松尾 崇市長 | 中澤 克之議長 | 児玉 文彦副議長 | 池田 実議員 | 松中 健治議員 | 中村 聡一郎議員 | 岡田 かずのり議員 | (前列) |
|---------|----------|--------|---------|---------|-----------|----------|----------|------------|------|----------|----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|------|---------|----------|-----------|----------|--------|---------|----------|--------|---------|----------|-----------|------|



児玉 文彦 副議長  
中澤 克之 議長  
池田 実 監査委員

5月22日の臨時会において議長、副議長の選挙を行い、議長に中澤克之議員が、副議長に児玉文彦議員が選出されました。議会選出の監査委員には、池田実議員が選任されました。なお、常任委員会等の委員構成は、下表のとおりに決定しました。

委員会	所管事項	各委員会の所属議員(◎委員長 ○副委員長)
総務常任委員会	市の総合計画・財政・デジタル戦略・地域共生など	◎岡田かずのり 松中 健治 ○上野 学 中村聡一郎 重黒木優平 中澤 克之
教育福祉常任委員会	学校・文化財・こども支援・福祉・市民健康など	◎前川 綾子 中村てつや ○藤本あさこ 吉岡 和江 大石 香 志田 一宏 水上 武史
市民環境常任委員会	市民生活・観光・防災・ごみ関連・消防など	◎森 功一 津野てるひさ ○日向 慎吾 児玉 文彦 細川まなか 加藤 千華
建設常任委員会	緑地・産地対策・道路・下水道・庁舎整備など	◎小野田康成 武野 裕子 ○長嶋 竜弘 くりはらえりこ 岡崎 修也 池田 実 岸本都美代
議会運営委員会	定例会の会期・議案審査の順番・本会議の進行の確認など	◎長嶋 竜弘 吉岡 和江 ○岸本都美代 志田 一宏 岡崎 修也 森 功一 上野 学 前川 綾子 くりはらえりこ 岡田かずのり
議会広報委員会	議会だよりの編集・発行など	◎中村聡一郎 武野 裕子 ○中村てつや 長嶋 竜弘 大石 香 日向 慎吾 水上 武史



【次回の定例会開会予定日】9月定例会：9月3日(水) ※開会予定日は、変更となる場合があります。

かまくら議会だよりは、温室効果ガス排出削減のため、古紙含有率100%の再生紙にCO<sub>2</sub>発生を抑制した植物油インキで印刷しています。また、ユニバーサルデザインフォントを採用し、見やすい紙面づくりを行っています。



# 一般質問

## 主な質問と答弁

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにただすものです。6月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。  
 一般質問の全文は、9月上旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

### 駐輪施設の整備について

鎌倉前進 ———— 上野 学



**質問**…たとえば腰越駅には駐輪場がずっとない。駅前には駐輪場を整備する必要があると考えるが、十分だと考えているのか伺う。

**まちづくり計画部長**…自転車利用者数は増加しているものと思われるが、駐輪場として活用できる適地が不足しており、整備目標の達成にはさらなる努力が必要であると認識している。

**質問**…組織の共通認識となる数値目標がないため、努力で整備できない。次期交通マスタープランでは、駐輪施設を整備する場所や期限がわかるような目標設定をすることが必要と考えるが、所見を伺う。

**同部長**…追加の駐輪施設整備を交通マスタープランに位置づけることについては、今後前向きに検討していきたい。



**その他の質問**:津波対策について、バス交通について、歩行者・自転車交通について、坂道等の移動支援について

### 民泊に関する独自のガイドライン作成へ

ゆめみらい ———— 日向 慎吾



**質問**…民泊事業者による住民への周知はどうなっているのか。

**共生共創部長**…神奈川県からの指導指針に基づき、届け出を行おうとする日までに書面等により周辺住民に対し周知するとされている。周辺住民とは「戸建て住宅は敷地の境界線から10m以内」「共同住宅は管理組合または共同住宅に居住する住民、当該建物の外壁から10m以内」と定義されている。

**質問**…市として民泊に関する独自のガイドラインを検討できないか。

**同部長**…市の関係各課及び鎌倉保健福祉事務所、警察、観光協会など関係団体に協力を打診し、鎌倉市の民泊の課題に関する検討会議を立ち上げ、ガイドラインの作成も含め対応の検討を進める。



**その他の質問**:戸別収集について(実施後の課題、福祉的な支援、全市実施に向けた体制の構築、収集品目の拡大に向けて)

### 緑地の環境整備について

ゆめみらい ———— 小野田 康成



**質問**…鎌倉広町緑地でNPO団体がナラ枯れ調査をしているが、緑地や公園のナラ枯れについてはどう対応しているのか？

**都市景観部長**…本市のナラ枯れについては平成29年9月頃から発生していることを確認しており、それ以降急激に被害が広がったが最近では減少傾向である。市有緑地や公園の枯れ木の対応については、道路や家屋に隣接する緑地部において人身被害等を起こすような恐れのある危険木は必要に応じて伐採しており、ナラ枯れについても同様に対応している。NPO団体の調査報告書に示されている予防措置が有効であるとのことから、今後、市有緑地および公園の愛護会やボランティア団体と情報を共有しながら維持管理に努めていく。



**その他の質問**:子ども達を見守る活動について、災害発生時の環境整備について、戦後80年の節目に際して

### ますます増える観光客にどう対応するか

ゆめみらい ———— 前川 綾子



**質問**…今年のGW、鎌倉市へ来た観光客数は。

**市民防災部長**…令和6年の入込観光客数は1,594万人。令和5年より3割増。令和7年の混雑ピーク時の来訪者は令和6年より3割増。鎌倉駅での江ノ電乗車数は2割弱増、JR鎌倉駅での下車数は1割弱増。

**質問**…若宮大路付近に長時間駐車する緑ナンバーの大型観光タクシーについて。

**まちづくり計画部長**…白タク行為に係る対策会議(国交省、神奈川県警等)の中でも意見があり、駐車が増えていると認識している。

**質問**…昨年、観光税は否だが宿泊税なら検討可能との答えだったが。

**市民防災部長**…導入に向け検討している。事例研究、設計などを検討しつつ、有識者などとの委員会を準備しているところである。



**その他の質問**:公園の整備について、地域交通について、老人福祉センターのあり方について、など。

### 陣屋坂の通学路と大船駅周辺清掃と補修など

立憲・銀河 ———— 岡田 かずのり



**質問**…陣屋坂の危険な通学路の対応はどうするのか。

**都市整備部長**…車両停止線の位置を移動することなどについて大船警察署と協議を行う。

**質問**…JR大船駅東口のペDESTリアンデッキ等の補修を行ってほしいがどうか。

**同部長**…令和7年度に点検と修繕、令和8年度に修繕を行う。

**質問**…湘南モノレール裏側のトイレ改築はどうなったか。

**総務部長**…入札不調が3度あった。今後も課題の解決に向けて進めていく。



**その他の質問**:①大東橋周辺まちづくり ②JR鉄道駅ホームドア設置 ③市役所移転の位置条例 ④ふるさと寄付金 ⑤観音前マンション跡地問題

### 鎌倉市の観光政策に関して③

公明党 ———— 児玉 文彦



**質問**…オーバーツーリズムによる民泊増加に伴うトラブル対策として、県に規制強化を訴えるとともに、鎌倉市独自の「鎌倉市民泊ガイドライン」を作成すべきでは？

**共生共創部長**…市関係各課、警察、観光協会など関係団体に協力を打診し、民泊の課題に対する検討会議を立ち上げ、ガイドラインの作成を含め検討を進めていく。

**質問**…鎌倉市も導入検討開始している宿泊税は総務省への申請・承認が必要だが、導入まで最速でどれ位かかるのか？

**市民防災部長**…有識者を交えた検討委員会の立ち上げ、条例の可決、総務大臣の同意、周知期間を経て最速で2年程必要と考える。



**その他の質問**:鎌倉市の財政に関して

### 鎌倉市認可保育園の利用状況について

無所属 ———— 細川 まなか



**質問**…保育所を新設したことによって令和7年4月時点で保留児童と待機児童の数はどのように変化したのか伺う。

**こどもみらい部長**…定員数は106名増加。待機児童は令和6年4月時点の34名から9名、保留児童は216名から195名に減少。

**質問**…保留児童と待機児童の考え方について伺う。

**同部長**…保留児童数は利用申込者数から入所児童数を引いた数。待機児童数は保留児童から、特定保育園等希望者、育児休業延長者、求職活動休止中の方、幼稚園預かり保育等利用者を引いた数。

**質問**…保留児童への対応と今後の対策について伺う。

**同部長**…待機児童の解消と保留児童の減少を見据えた対策を行う。



**その他の質問**:鎌倉市における介護の状況について、街区公園への犬の立ち入り禁止について

### 小中学校体育館のエアコン設置について

公明党 水上 武史



質問…災害時の避難所機能を考慮した場合、停電対応型の設備選定が重要と捉えているが、どのように考えているか。

教育文化財部長…コスト面や設置スペースを含む課題もあるので慎重に検討していきたい。

質問…エアコン設置に向け、具体的なロードマップを示してほしい。

同部長…整備手法やコスト試算を含め、検討している段階である。具体的なロードマップまでは策定できていないが、早期に予算化ができるよう取り組みを進めるとともに、整備の全体像を示せるように検討を進めていく。

その他の質問:小中学校トイレの洋式化について、5歳児健診について



### 給食無償化が実施された場合の鎌倉市の対応

無所属 津野 てるひさ



質問…私自身は無償化に全面賛成の立場ではございません。先行して無償化を進める自治体の課題として、給食の質の低下や品数の減少が言われている為です。国の方針で来年度から無償化が始まった場合、年度初めから無償化されるのか?そして鎌倉市の児童生徒に提供される給食の質及び量をしっかり確保し充実したものを提供していただけるのでしょうか。

教育文化財部長…無償化の時期に関しては国の決定に合わせて進めていく予定である。鎌倉市では物価高騰分を市費で負担しオーガニック、地産地消も進めている。給食の質及び量に関しては現状も努力しており、無償化後も栄養のバランスと質に留意していく。

その他の質問:新型コロナウイルスワクチン副反応被害に対する鎌倉市の対応と今後の備えについて



### 鎌倉市のスポーツについて

鎌倉前進 岡崎 修也



質問…鎌倉市が目指すスポーツ振興とはどのようなものか。

市長…スポーツが持つ価値を活かしたまちづくりを目指し、計画の改定や基本方針の策定を進めていく。

質問…「鎌倉市スポーツ振興基本計画」改定のポイントを伺う。

健康福祉部長…スポーツを通じた多面的な効果が測定できるような指標と目標値の設定を検討していく。

質問…スポーツをより多角的にまちづくりに活かすなら、これまでにない官民連携を視野に入れた仕組みづくりが必要ではないか?

同部長…「地域スポーツコミッション」の先進事例などを調査研究しながら、協議体制の構築を検討していく。

その他の質問:深沢・村岡のまちづくりについて(土地区画整備事業の進捗とその広報・周知について等)



### 東アジア文化都市2025事業の成功にむけて

鎌倉前進 加藤 千華



質問…日本代表都市に選出された。市としての想い・狙いは?

東アジア文化都市事業担当担当部長…鎌倉の成り立ちや今に引継ぐ多様な文化を再認識し、平和への祈りを発信していく機会としたい。

質問…成果可視化のためのKPI(数値目標)をどう設定しているか。

同部長…アンケート調査で市民50%が認知していることが目標。

質問…市民、特に若者への文化・国際交流機会の提供方法を伺う。

同部長…中国・韓国への中学生の派遣のほか、教育委員会との連携プログラムなども行いながら、幅広い交流の機会を創出していく。

質問…環境保全やフェアトレードも鎌倉の文化ではないか?

同部長…認証事業として市民活動に光を当てていきたい。

その他の質問:若者が地域住民と一緒にまちづくりに携われるような機会の創出、構築をすべきでは?



### 砂押川沿いの歩道確保/災害本部の耐震は?

日本共産党 武野 裕子



質問…職員の技術継承の観点も含め、退職者不補充をやめ、作業センターの増員を図るべき。

共生共創部長…災害等緊急時に備えるためにも体制を検討する。

質問…砂押川沿いの歩道の確保は?

都市整備部長…歩行者の安全確保は重要。当該道路の安全対策が必要な箇所について継続的に取り組む。

質問…耐震改修促進計画では市役所の耐震は1s値0.9にと。しかし第3分庁舎に災害対策本部があり、新耐震(1s値0.6以上に相当)。明日来るかもしれない地震のために数年先に深沢に移転するのか。命を守る視点でただちに第3分庁舎を1s値0.9に改修すべき。

市長…促進計画では、新耐震の建物は改修しない方針としている。

その他の質問:平和推進事業、資材高騰、人件費の高騰について



### 避難所となる体育館のエアコン設置について

鎌倉前進 大石 香



質問…災害時の避難所となる小中学校体育館へのエアコン設置は欠かせない投資と考えるが、何校に設置されているのか、現在の状況を伺いたい。

教育文化財部長…断熱、遮熱対策の実施や冷暖房の設備について、設置している学校はないのが現状である。

質問…横浜市では2020年度から始まり、2029年度には全てに設置完了する計画がある。鎌倉市でもエアコン設置に向けては積極的に予算化をして早急に進めていただきたいが、いかがであるか伺いたい。

同部長…他市の事例を視察するなど検討を進めており、補助金の活用も視野に、早期の予算化を目指していく。

その他の質問:災害時にトイレで利用する備蓄品について、トイレトレーの運用について、マンホールトイレについて



### こそだて世代の負担軽減のため園のお迎え時にお惣菜等を販売してはかがか

無所属 藤本 あさこ



質問…子どもを保育園に迎えに行ってから毎日の食事準備は子育て世帯の多くにとって大きな負担となっている。保育園でのお惣菜販売は、保護者の時間的負担軽減と、子どもが保護者と過ごせる時間が増え、栄養バランスの取れた食事提供を同時に実現できる効果的な支援策と考える。子育て世帯の負担軽減のため、例えばモデル園での試行から始めて段階的に拡大していくなど、保育園でのお惣菜販売取組についてご検討いただけないか。

こどもみらい部長…事業者と保育園、双方のニーズがあって成立することから、相談があれば必要な情報提供等の協力をしていく。

その他の質問:鎌倉市の保育支援について、投票に関する課題について、通級指導教室のあり方について、不登校支援について



### 福祉職職員について

立憲・銀河 中村 てつや



質問…共生社会の実現や少子高齢化の改善に大きく期待できる福祉職職員ですが、改めて福祉職職員採用の目的を伺いたい。

総務部長…福祉ニーズの多様化、複雑化、困難化により、専門性の高い対応への体制を整え、福祉サービスの向上につなげるため。

質問…採用の現状はどうなっているか。

同部長…令和6年度に採用試験を行い12名が応募、8名が試験を受け1名を採用し、生活福祉課に配属した。

質問…この採用ペースでは体制確保が遅くなるため、現在事務職採用ですでに専門性がある職員を福祉職へ職種変更することはあるか。

同部長…人事制度の在り方議論の中で職種変更も検討していきたい。

その他の質問:小中学校の給食費無償化について、中学校給食の食缶方式導入について、福祉職職員について



### 市長の政治姿勢を問う

立憲・銀河 ———— くりはら えりこ



**質問**…本庁舎を深沢に移すために必要な法的手続きについて伺う。  
**まちづくり計画部長**…地方自治法第4条第1項において、地方公共団体は、その事務所の位置を定め又はこれを変更しようとするときは、条例でこれを定めなければならないと規定している。本庁舎の移転に際しては鎌倉市役所の位置を定める条例の改正を行う必要がある。  
**質問**…6月定例会に位置条例改正案を出さなかった理由を伺う。  
**市長**…再提案については、現時点で市議会議員の2/3以上の方に賛成が得られるという見通しが立っていないのが一つの理由である。  
**質問**…残る任期の間に決着するのか、次の市長選挙に出られるのか。  
**市長**…次の選挙に出るかは、まだ決めていないという状況である。

その他の質問:鎌倉の目指す方向性、文化・文化財的価値の保存と活用、ごみ問題、本庁舎と深沢地域整備事業、物価高騰対策



### 学校給食無償化を、交通問題について

日本共産党 ———— 吉岡 和江



**質問**…国は給食無償化の実現方針である。憲法では義務教育無償化だが、教育費負担は年間約4、50万となっている。経済対策として学校給食無償化を前倒しで実施する考えはないか。  
**教育長**…本市としては市独自の前倒しは考えていないが、国の検討状況を踏まえ、小学校給食費無償化の実現を目指していきたい。  
**質問**…路線バス減少について、事業者への補助、市民への交通補助を行う等乗降客が増え公共交通の維持、健康づくり医療費削減等、総合的まちづくりの視点での取り組みが大切であると思う。  
**市長**…現在、地域公共交通計画策定を進めており、地域の課題を踏まえ、計画に位置付ける施策の実現性について、市の財政的負担の必要性も踏まえ検討する。

その他の質問:緊急経済対策(①電気・ガス・ガソリン代補助②事業者への融資③高齢者の医療費補助)、マイナンバー保険証について



### 本庁舎移転条例について

公正と法 ———— 長嶋 竜弘



**質問**…移転条例を何故出さないのか?という問いには、本庁舎移転の為の条例の可決の見通しがたない、議員の2/3の賛成を頂く事が判断基準、任期中に決着すると言われているが、3人裏返って賛成する見込みがないと移転条例はとらないわけで、私には見込みがあるようには全く見えないのですが、その見込みは市長にはおありになるのでしょうか。  
**市長**…見込みと言う意味ではここではっきり申し上げられるほどの見込みという事はございません。  
**質問**…6月議会で条例を出せない状況。本庁舎移転は市長の今任期中にはできないという事が確定しています。それ確認してよろしいですか。  
**市長**…位置条例の再提案につきましては今後の状況を勘案しながら私自身判断してまいりたいと考えております。



### 訪問介護員の処遇改善について

公明党 ———— 岸本 都美代



**質問**…訪問介護員を増やす取り組みについて  
**健康福祉部長**…介護保険事業、介護職に対する理解促進、魅力向上等を目指し、令和7年度から学生を対象に介護体験ができる機会を提供していく事業を開始する。  
**質問**…介護分野を地域経済の基幹産業と位置付け、介護従事者の給与を全産業平均まで引き上げる取り組みや公務員ヘルパーの導入など、国、県で政策の優先順位を高めて取り組む件について  
**同部長**…介護保険料を払って頂きながらサービスを利用できないという事態は避けなければならない。本市においても介護従事者を増やす取り組みを引き続き行っていきます。

その他の質問:高齢者福祉における外出支援について、高齢者福祉における災害時の対応について



### 税金の使途公開方法について見直しを

無所属 ———— 重黒木 優平



**質問**…行政の透明性と説明責任の確保という観点から、目的・成果・費用対効果を明確にする行政評価シート(事務事業評価シート)は非常に重要だと考えている。部署異動もある役所内では、そもそも何を目的として始めたか理解していないが、昨年も取り組んでいたのが今年も予算を付けて継続となりがちである。改善策として、事業を始めたきっかけや事業の経過が分かるような視点を行政評価シートに取り入れてはどうか市の見解を伺う。  
**共生共創部長**…事業を始めた目的や経過は非常に重要な視点で、どのように盛り込んでいくかを今後検討してまいりたいと思います。

その他の質問:強盗や刃物を使用した事件等、近隣住民に知らせる必要がある緊急性の高い情報についての周知方法について



## 可決した意見書

#### 給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書

学校給食は、子供たちの日々の食事の3分の1を占め、成長期にある児童・生徒の心身の発達において極めて重要な役割を果たしている。  
 しかしながら、現在、物価高騰の影響により、一部の自治体では給食の質及び量の確保が困難となっている実態がある。  
 このような中、国による給食無償化の実現は、給食の安定供給と、子育て支援や少子化対策への貢献という両面から、極めて重要な政策的意義を有する。政府は、小学校における全国一律の給食無償化を令和8年度から実施し、中学校についても可能な限り早期の実現を図る方針を示している。  
 しかしながら、全国一律の無償化により、自治体においては限られた予算内で給食費を賄う必要が生じ、その結果、物価高騰や米不足等の影響により、給食の質や量が低下しかねず、自治体ごとに格差が生じるおそれがある。  
 したがって、無償化は家庭の経済的負担軽減という側面のみならず、給食の質と量の維持・向上という観点からも実施されなければならない。  
 給食の質の充実については、地産地消の推進や食育の強化、有機食材の使用拡大を求める声が高まっている。一方で、日本の食料自給率は38%にまで低下しており、第一次産業の振興や食育の観点からも、地産地消のさらなる推進が必要である。  
 加えて、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに化学農薬の使用量を50%低減、化学肥料30%低減し、有機農業の取組面積を全体の25%に拡大することを目標としており、有機食材の使用拡大は、環境の持続可能性や健康増進の観点からも、行政が先導的に取り組むべき重要課題である。  
 よって、国による給食無償化の実施に当たっては、全ての児童・生徒の健やかな成長を促す上において、給食の質及び量の担保を可能とする十分な予算措置を講じるとともに、自治体格差が生じないよう下記の事項について特段の取組を強く求める。

- 1 給食無償化の実施に当たっては、物価高騰等の影響により給食の質や量が低下することのないよう、国による適切な制度設計と十分な予算措置を講じること。特に、一時的な交付金に依存するのではなく、恒久的かつ安定的な財源の確保を図ること。
- 2 地産地消の推進、食育の充実、有機食材の使用拡大など、質の高い給食を安定的に提供できる体制を構築すること。ただし、各自治体の農業生産基盤の現状や有機食材の安定供給体制の実情を踏まえ、実現可能な目標設定と段階的な推進計画を策定するとともに、生産者への支援策を含めた総合的な取組を推進すること。
- 3 長期欠席の児童・生徒や、学校外で学ぶ子供たちにも給食無償化の恩恵が及ぶよう、柔軟かつ実効性のある支援制度を整備すること。その際、公平性や実効性を担保できる具体的な支援方法について、国による統一的な制度設計や明確なガイドラインの策定を含め、詳細な調査研究に基づく慎重な制度構築を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和7年(2025年)6月27日

鎌倉市議会

## 可決した意見書

#### 日米地位協定の見直しを求める意見書

全国知事会は2018年、2020年と日米地位協定について「米軍基地負担に関する提言」を採択している。日米地位協定は1960年に締結され、その後の世界情勢は大きく変化したが、一度も改定が行われていない。  
 日米地位協定により全国に130施設の米軍基地があり、うち神奈川県には米軍基地が12か所あり、沖縄県に次ぐ基地県であります。米軍基地の周辺では、航空機の騒音・振動、演習に伴う自然環境の破壊、米軍関係者による性暴力事件・交通事故、PFAS問題など、基地に起因する諸問題の発生により、住民の生活に多大な影響が生じてきた。また、首都圏上空が米軍の管制下にあることで、民間航空機の運航にも影響が生じているが、日米地位協定により、在日米軍には原則として日本の国内法が適用されないなど、我が国の主権行使は制約されている。  
 一方、我が国同様に米軍が駐留する他国(ドイツ、イタリア、ベルギー、イギリス)においては、それぞれの国内法が原則として米軍に適用されているところである。  
 よって、国においては、米軍の基地に起因する諸問題から、国民の生命・財産と基本的人権を守るため、米軍への国内法の原則適用等を内容とする日米地位協定の見直しを早急に行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和7年(2025年)6月27日

鎌倉市議会

6月20日開催 審査した内容(議案1件、報告事項6件)

報告事項 戸別収集の実施状況について

本市では、燃やすごみについて、令和8年(2026年)4月から全市戸別収集を実施するのに先立ち、令和7年(2025年)4月から市内一部地区を対象に、先行して戸別収集を実施しています。

先行地区でこれまでに発生した、1日当たりの平均収集漏れ件数は、第1週は平均53.7件でしたが、第2週になると約半分に減少、第3週以降も改善傾向を示し、第9週の時点では2件となっているとのことです。収集漏れの主な発生原因は、道路から見えない場所にごみが排出され、作業員が収集の際に気づくことができないというものや、ごみ袋が複数排出され、その一部を取り残してしまうというものなどであり、いずれも再発防止を図っているとのことです。

また、燃やすごみを誤ってクリーンステーションに排出してしまうケースについては、周辺住民に戸別収集を開始したことをお知らせするチラシを配布するほか、集合住宅の入居者に対しては、管理会社を通して周知しているとのことです。

令和8年(2026年)4月からの全市戸別収集に向けた取り組みとしては、自治・町内会等を対象とした説明会を実施するほか、回覧用のチラシの配布や、広報かまくらへの掲載、リーフレットの配布などを予定しているとのことです。

さらに、全市戸別収集をスムーズに開始するため、収集事業者が収集ルートを実際に走行し、収集に要する時間や道路状況、注意を要する箇所などを事前に確認することや、排出場所の確認として、戸建て住宅約4万世帯を原則1軒ずつ訪問し、燃やすごみが戸別収集になることをお知らせして排出容器の設置場所の確認を行うほか、集合住宅約2千軒については、専用の集積所を持たないアパート等に燃やすごみ専用の集積所を設置していただくよう、集合住宅のオーナーに依頼文を送付しているとのことです。

委員会では、報告事項について了承しました。



6月24日開催 審査した内容(議案3件、報告事項7件、陳情2件)

報告事項 鎌倉文学館大規模改修の進捗状況について

鎌倉文学館は、大規模改修を行うため、令和5年(2023年)4月から休館しています。令和4年度から基本設計業務に着手し、引き続き実施設計業務を行い、令和6年度末に完了したとのことです。なお、本館、トイレ、収蔵庫、旧前田邸の所在する場所が土砂災害特別警戒区域に含まれており、当該区域内では建築、改築、建物用途の変更などが制限されることから、当該区域の解除を行うため、本館の土砂災害対策防護柵設置工事を令和6年(2024年)8月から実施し、本年1月に工事を完了したとのことです。

本館の改修については、歴史的建造物としての価値を損なわないよう配慮するため、文化庁が示す要領を参考に、改修基準を設定し、老朽化対策を実施するとのことです。また、バリアフリー対応のエレベーターを建物裏側に増築するほか、昭和11年(1936年)竣工当初の趣が残っている本館3階を公開するため、鎌倉市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の適用を受け、安全性確保のための対策を実施する予定とのことです。さらに、鎌倉文学館の設計を進める中で、隣接する敷地を一体活用し、券売所やカフェ等を含む便利施設を整備し、これまでの運営上の課題を解決するとのことです。

大規模改修に当たっては、旧前田邸を含む周辺も、建物と周囲の緑が醸し出す趣を継承していくことに配慮して検討を進めてきましたが、旧前田邸は背後の崖との間にスペースがなく、建物を残したまま安全対策を実施する場合、大規模な工事が必要になるため、規模を縮小して建て直し、管理棟を整備するとのことです。

今後の予定として、今年度は券売所やカフェ等の便利施設整備計画地の埋蔵文化財発掘調査を実施し、改修工事の事業者選定に着手、令和8年度に工事着手、令和11年(2029年)4月頃に再開館となる見込みとのことです。

委員会では、旧前田邸に係る陳情が市民から提出され、継続審査となっていることに鑑み、報告事項を聞きおくこととしました。



文学館西面の防護柵

市民環境常任委員会

常任委員会

審査の一部を紹介します

総務常任委員会

建設常任委員会

教育福祉常任委員会

6月23日開催 審査した内容(議案4件、報告事項4件、請願1件、陳情3件)

報告事項 雨水管理総合計画について

近年、国内において都市への人口集中や気候変動の影響により、排水が追いつかず住宅の浸水被害等が多くなっていることから、市では、下水道による対策を実施するための基本計画である、雨水管理総合計画の策定作業を進めているとのことです。

計画の策定に当たり、令和4年度に実施した浸水シミュレーションに、過去の浸水被害を加味した上で、浸水発生時に大きな影響を受ける5区域(鎌倉駅周辺、大船駅周辺、長谷周辺、手広周辺、山崎周辺)を抽出し、具体的な対策の検討を進めましたが、そのほか、浸水の範囲は狭いながらも、災害時の活動や市民の避難行動に影響を及ぼす可能性のある3区域(大船フラワーセンター付近、湘南鎌倉総合病院入口付近、腰越支所付近)が確認されたため、計8カ所を「浸水対策区域」とするとのことです。

また、想定し得る最大規模の降雨により公共下水道等の排水施設等で雨水を排除できなくなった場合に浸水が想定される区域である「雨水出水浸水想定区域図」(\*)については、既にホームページに公表しているとともに、内水ハザードマップに反映して作成し、公開しているとのことです。

令和7年(2025年)3月から、市内を流れる柏尾川、滑川、神戸川の下流域の管理者である神奈川県と本計画について協議を行っており、協議終了後、計画の素案について意見公募を実施し、令和7年度中に計画を策定する予定とのことです。

委員会では、市民や事業者への周知方法などについて質疑が行われた後、報告事項について了承しました。

※雨水出水浸水想定区域図はこちら▶



6月19日開催 審査した内容(議案2件、報告事項5件、陳情4件)

報告事項 保育所等への入所状況について

令和7年(2025年)4月1日時点の保育所等への入所状況について、報告がありました。

本市の待機児童数(特定の保育施設のみ希望している場合や育児休業を取得している場合など、一定の条件に該当する児童を除いた数)は、令和6年度の34人から25人減少し、9人となったとのことです。

待機児童数が減少した要因としては、家庭的保育事業所1施設、小規模保育事業所4施設を新たに開設するとともに、鎌倉しろやま幼稚園が認定こども園に移行、認定こども園おおぞら幼稚園の定員が増加したことによるものと考えられるとのことです。

また、令和7年(2025年)4月1日時点において、1歳、2歳に待機児童が発生している状況を踏まえ、大船地域にある保育園みつばと、園舎増築による20名程度の定員増を図る協議の実施、ひがし幼稚園と、認定こども園への移行に向けた協議を実施するとともに、本年7月1日には玉縄地域において、定員を16人(1歳:8人、2歳:8人)とする、みらいにじいろ保育園(小規模保育事業所)を開設するとのことで、今後も保育需要を踏まえながら、施設整備を行っていくとのことです。

質疑を通じて、「令和8年度に待機児童をゼロにする目標であること」「令和11年度に保留児童をゼロにする目標であること」「保留児童を実際にゼロにするのは難しいが、それだけの数の施設をしっかりと造ることは重要と思っている」など市の対応や考え方を確認しました。

委員会では、報告事項について了承しました。



請願・陳情の議決結果

6月定例会では、1件の請願、16件の陳情が提出されました。そのうち、7件を全議員に配付し、10件を常任委員会に付託し、審査を行いました。付託した10件のうち、6件を継続審査、本会議において請願1件、陳情3件を採択しました。採択した請願・陳情の要旨および結果は次のとおりです。

◆請願第1号 鎌倉市鎌倉山一丁目1668-9市道の舗装工事についての請願書

請願の要旨 鎌倉山一丁目1668番9先の鎌倉市道は、苗田公園の利用者や散歩、通勤等で近隣住民が使用しているが、未舗装の砂利道で、急な坂道であることから、毎年、足を滑らせてけがをする人が後を絶たない。また、市道の途中にある固定されていないマンホールについては、市に修繕を要請したものの、コーンが置かれただけで、1年間放置されている。さらに、救急車が入れない事態も生じており、市民の安全な生活と命を守るために市道の舗装工事の着手を求めるものです。

建設常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆陳情第9号 「在宅医療介護従事者を守るための包括的ケアハラスメント対策」についての陳情

陳情の要旨 近年、在宅医療・介護現場における従事者への暴力・ハラスメント事件が相次いで発生しており、また本市におけるアンケート調査でも、高い割合でハラスメントの経験が報告されていることから、在宅医療・介護従事者が安心してサービス提供できる環境整備のため、地域全体での対策協議と環境整備を求めるものです。

教育福祉常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆陳情第13号 新庁舎建設に関する陳情

陳情の要旨 新庁舎建設については、令和4年(2022年)12月議会で位置条例が否決された状態で停滞しているが、未来永劫建設しないということはありません。将来における市役所のあるべき姿の議論を尽くし、できるだけ早く新庁舎建設のロードマップを示すことを求めるものです。

建設常任委員会では可否同数のため委員長裁決により採択し、本会議では多数の賛成により採択しました。

◆陳情第15号 鎌倉市フリースクール等利用児童生徒支援補助金制度についての陳情

陳情の要旨 年々増加する不登校生徒への細やかな対応として、鎌倉市フリースクール等利用児童生徒支援補助金制度の補助金額の割合である「3分の1」の割合を撤廃し、上限金額は現行と同額であっても、全額補助に変更することを求めるものです。

教育福祉常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

# 議決された主な議案等

※5月臨時会では、市長提出議案3件、6月定例会では、市長提出議案13件、議員提出議案2件、請願1件、陳情3件の採決を行いました。  
※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 -：反対 退：退席

会派名		議員名		無所属の党	鎌倉前進の会	議鎌公倉員市明議団会党	夢みらい鎌倉	議鎌立倉憲団市民・銀議主河会党	議鎌日倉本員市共議産団会党	公正と法	無所属																			
会派名		議員名		中村 聡一郎	志田 一宏	森 功一	池田 実	大石 香	岡崎 修也	上野 学	加藤 千華	水上 武史	岸本 都美代	児玉 文彦	日向 慎吾	小野田 康成	前川 綾子	岡田 かずのり	中村 てつや	くろはら えりこ	吉岡 和江	武野 裕子	長嶋 竜弘	中澤 克之	細川 まなか	重黒木 優平	津野 てるひさ	藤本 あさこ	松中 健治	
6月定例会	条例	第11号	鎌倉市市費負担教員の任用等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第14号	鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例及び鎌倉市まちづくり条例の一部を改正する等の条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	その他	第6号	工事請負契約の締結について(鎌倉地域漁業支援施設防波堤工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第10号	鎌倉海浜公園坂ノ下地区レストハウスに係る損害賠償請求及び建物明渡請求訴訟の提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会議案	第1号	日米地位協定の見直しを求める意見書の提出について	可決	-	-	-	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第2号	給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願	第1号	鎌倉市鎌倉山一丁目1668-9市道の舗装工事についての請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		陳情	第9号	「在宅医療介護従事者を守るための包括的ケアハラスメント対策」についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			第13号	新庁舎建設に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第15号	鎌倉市フリースクール等利用児童生徒支援補助金制度についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 5月臨時会

任期満了に伴う市議会議員選挙が4月27日に行われ、26名の新しい議員が選出されました。これに伴い、5月22日、改選後の初議会として臨時会が開催され、議長・副議長の選挙が行われました。

**選挙の結果**

**議長選挙**  
中澤 克之議員 18票  
無効票(白票) 8票

**副議長選挙**  
児玉 文彦議員 25票  
無効票(何人を記載したかを確認し難いもの) 1票

選挙の結果、議長に中澤克之議員、副議長に児玉文彦議員が選出されました。また、議会選出の監査委員として、池田実議員が選任されました。

そのほか、市長から提出された議案について、審議を行いました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

**《市長提出議案》**  
**補正予算 一般会計補正予算(第1号)【議案第3号】**  
令和7年度鎌倉市定額減税補正給付金(不足額給付)支給に係る経費の追加をしようとするもので、歳入歳出ともに6億9731万5千円を増額し、補正後の総額は816億7121万5千円となります。  
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

## 6月定例会

6月定例会では、議員から2件の議案が、また市長から13件の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

**《議員提出議案》**  
**日米地位協定の見直しを求める意見書の提出について【議会議案第1号】**  
(意見書の内容は4面に掲載)  
議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。  
**給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書の提出について【議会議案第2号】**  
(意見書の内容は4面に掲載)  
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

**《市長提出議案》**  
**条例関係議案**  
**鎌倉市市費負担教員の任用等に関する条例の制定について【議案第11号】**  
新たな教育大綱に掲げる「学習者中心の学び」を支える環境を整備するため、学校の指導体制の充実を図るべく、

市費負担教員を採用するに当たり、その任用、給与、勤務条件等の特例に関し必要な事項を定めようとするもので、公布の日から施行しようとするものです。  
議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

**鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例及び鎌倉市まちづくり条例の一部を改正する等の条例の制定について【議案第14号】**  
社会情勢の変化や本市の土地利用を取り巻く状況の変化を踏まえ、令和4年(2022年)1月に策定した「土地利用調整制度の見直し大綱」に基づき、特定土地利用や中規模開発事業の手続き等に関する規定を整備しようとするもので、令和8年(2026年)4月1日から施行しようとするものです。  
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。


**補正予算**  
**一般会計補正予算(第2号)【議案第15号】**  
城廻市有地擁壁補強工事による地盤変動影響調査に係る経費、城廻市有地擁壁補強工事費に係るインフレ対応経費および地域型保育給付費などを追加しようとするもので、歳入歳出ともに9045万4千円を増額し、補正後の総額は817億6166万9千円となります。  
また、城廻市有地擁壁補強事業について継続費の変更、本庁舎等施設整備事業費に係る地方債の変更をしようとするものです。  
議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

**工事請負契約の締結**  
**工事請負契約の締結について【議案第6号】**  
鎌倉地域漁業支援施設防波堤工事についての請負契約を、一般競争入札の方法により、ユタ力建設株式会社と締結しようとするもので、消費税額および地方消費税額を含む契約金額は8億9100万円です。  
議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

**《人事案件》**  
**教育委員会の委員**  
教育委員会の委員の任期満了による後任者として、引き続き次の方を任命することについて、議会では総員の賛成により同意しました。  
はやし あやこ  
林 紋子氏  
任期は、令和7年(2025年)7月1日から4年間です。

### 全国市議会議長会表彰


5月20日に開催された全国市議会議長会第101回定期総会において、前川綾子議員が議員在職20年以上の一般表彰を受けました。また、池田実議員には全国市議会議長会の理事退任に伴い、感謝状が送られました。



池田 実 議員      前川 綾子 議員

### 編集後記

「かまくら議会だより」が、現在のスタイルになったのが、昭和40年(1965年)ということ、今年で60年を迎えることとなりました。時代とともに、より分かりやすく、親しみやすい紙面づくりを目指して、写真や図表の導入、レイアウトの改善、そしてウェブサイトでの公開と、工夫を重ねてはきたつもりですが、まだまだ改善の余地があるかと思っております。市民の皆様のご意見もお寄せください。4月の鎌倉市議会議員選挙で顔ぶれも入れ替わり、新たな気持ちでこれからも市民と議会の架け橋となる大切なツールとして役割を果たしていきたいと思っております。  
議会広報委員長 中村 聡一郎



令和7年度議会広報委員会

(左から) 長嶋竜弘委員、武野裕子委員、大石香委員、中村聡一郎委員長、中村てつや副委員長、日向慎吾委員、水上武史委員